大好きミオーナン

atelier maruwa

成年コミック

拾ってください
ぇるはミキだよ

大好きミキニャン
あの時…
目が合った瞬間に
わかっちゃったの♥
にゃの♥
この人がミキの
ご主人様(ハニー)になって
くれる人ニャンだって♥
拾ってください
きえはミキだよ

じゃあぁっ！
シャッ
シャッ
いゃ…
うにゃぁぁぁ…
コラッ
あばれるな！
だめニャのっ…
ヴルル～ッ
ミキ濡れるの
や、にゃのぉー！
まいったな…
俺までビチョビチョだ

…ったく〜

にゃ〜♥

ポッ

ご主人様のはだかにゃの♥

よーし！こうなったらとことん洗っちゃる

へぇ…

モミ

へっへっへ

カァァ

おちんちん〜♥丸見えにゃの♥♥

見てるミキの方がドキドキしちゃうよ♥

ジワッ

キュン♥

は…ハニィ…

ちゅっ ちゅっ

あれ…急に大人しくなっちゃったな…
ハニィあ♥
だって…だってぇ…
ドキ
ドキ
ドキ
ハニィの…
ハニィの…おちんちんがミキのお尻に当たってるの…
ミキ…変な気持ちになっちゃう♥
ムキュ
ムキュ
腰が動いちゃうの♥
ぽにぽに
ぽにぽに
ハニィだぁ♥ふぅぁん♥

ハニィのおちんちんさんで発情しちゃうの♥
こらっ何をっ
にゃあ♥
にゃあん♥
あはっ♥おちんちんさんっ♥おっきくなってきたよ♥
にゃあぁん♥
お股とお股がスリスリするの気持ち～♥
んにゃあ～♥
にゃあぁ♥

はぁ
にゃぁっ
おい大丈夫か？
ポヤァ
ミキ…
ハニィ♥
にゃあぁ♥
はぁ…♥
だめぇ…おっぱい敏感になってる♥
ハニー…ミキもう…
ハァ
にゃぁん♥
ハァ
そんなに優しくフキフキされたら…
また、発情しちゃうんだよ♥

腰に力、入んなくなっちゃうの♥
ハニィだよ…
ほら…見てハニィミキの女の子とろとろニャンだよ♥

とろとろまんまんさんにおっきいのハメハメして欲しいな♥

は…ハニィも♥興奮してくれてるの？
チューしちゃうんだよ♥

おっき～♥

こんな…

こんなので交尾されたらミキ…♥

きっと、駄目な猫さんになっちゃう♥

交尾大好きな発情ニャンコにニャっちゃうにょ♥

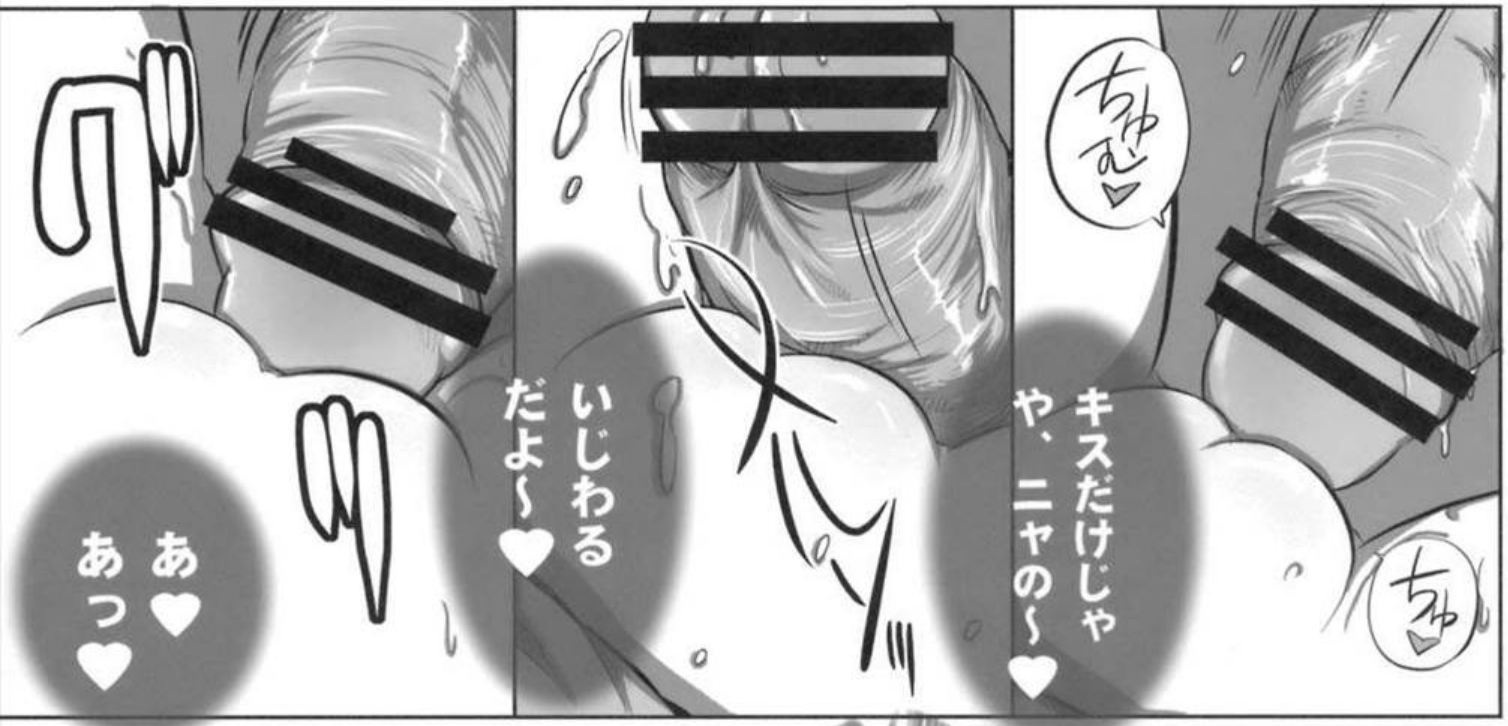
にゃあ♥
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ミ、ミキ！

コロン
あぁ…♥おちんちん♥
♥
ヒクッ
ヒクッ
ハニィのおちんちんさん♥

いいのか？
ヒクッ
…っ♥
トクン♥
にゃあっ♥

にゃぁん♥
ハ、ぁぁん♥
オッケーだよ♥
ミキもミキの
女の子も…
はっ♥
ハメハメ準備
オッケーにゃんだよ♥
キュン♥

はあぁ♥
チュッ
ドッ
ドッ
ドッ
くるよ…
オチンポさん
くるよ♥


ちゅむ
ちゅ
キスだけじゃ
や、ニャの～♥
いじわる
だよ～♥
あ♥
あっ♥

にゃんっ♥
はっ♥

にゃ♡
にゃあん♡
ビクッ
ビクッ
おちんちんさん
しゅっごい
よお♥♥
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽんっ
ゴリュリュッ
にゃへ♡
にゃへぇ♡
しゅっごく
気持ち
いいの♥

にゃにゃぁん♥
ニャァ
ハァ♥みゃぁ♥
交尾大好きになっちゃう♥
おちんぽさん病みつきになっちゃうの♥
ハぁっ♥
あっ
ふぁっ
くっうぁ！
ニャァ!?
だめぇ♥ おちんちんさん抜けちゃだめにゃの♥

あぁ♥
今度は
ニャンニャンの
かっこでするの？
にゃ…♥
じ…焦らさないで♥
早くジュポジュポして
下さいにゃの♥
しゅごいにょ♥
ひんっ♥
ミキの女の子♥
おちんちんさんで
キュウキュウにゃの♥

こんなの…
こんな、ねっとり
やらしい交尾されたら♥
ひんっ♥
ハァ
ハァ
ハぁびん♥
ミキの子宮が
赤ちゃん欲しいよって
泣いちゃうよ♥

もう我慢できそうにニャいの♥

もう♥

にゃはっ…！はぁん…♥

射精♥

してほしいよ～♥

ハニィのおちんちんさんで…

妊娠させて欲しいの♥

ハニィ♥
ミキ…？
そんな止められても俺もう…！
くぁ！
ミキは…
ミキ…
わがままかもだけど最後は…
にゃぁぁぁ♥
ピュッピュされるのは人間の女の子みたいにお顔見てしたいの♥

ミキ…俺もうイクぞ！出すぞ！
はいなの♥
にゃ…ん♥
ミキも…♥いっぱいいっぱい出してほしいの♥
ハニィの膣(なか)出しで子猫いっぱい生みたいよ～♥
にゃっ♥
にゃにゃ♥
にゃぁ♥

中で…
出すぞ！
ヒク
ヒク
下さい♥
下さいっ♥
いやぁっ♥
いやぁ♥

きゅうぅん…♥
ミキに…
赤ちゃんの素いっぱい
下さいっ♥

ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ

イクぅ♥
しゅごい♥
どぴゅどぴゅ
しゅごいの♥
奥で精液いっぱい♥
ピュッピュッされながら
イクのくせになっちゃうの♥

ぱぁ♥
ポヤァ♥
ハンヤぁぁぁ♥

あぁ♥
トキ
トキ
んぁ♥
ニャ♪
トキ
ハニィ…♥
キス!?

チュパ♥
んっ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
エッチの後に
キスするのうれしいよ〜♥
気持ちいいよっ♥
ちゅぱっ♥
レロッ
レロッ
トロロッ
んぽ♥
ハニィはやっぱり
ミキの王子様にゃの♥
ぱっ♥

うにゃにゃ♥
ゴロ
にゃぁん♥
ゴロ
どうしてこんな甘えんぼさんなんだ？
だって…ハニィは…
パパパイ
ッ!!
ギャリリ
うにゃ!?
ガッ

ガガガ!
しっ
大丈夫か？
にゃっ♥
あの時、ミキを助けてくれた王子様だもん♥
ずっとずっと探してたんだもん♥
うにゃ♥
大好きっ
チュッ♥
ハニィ♥

発行日
2009/3/15
iDOL PROJECT 5

発行
アトリエ丸和
http://ugs4@blog111.fc2.com/
丸和太郎
ugs4@mail.goo.ne.jp

印刷
ねこのしっぽ

※18歳未満の購読を禁止します。

遠い星と近くのキミ

スキー場でのイベントを終えて寒さに縮こまっていた俺と美希を待っていたのは、主催の方が用意してくれていた温泉宿だった。

部屋には布団がピッタリと寄り添って敷いてあった。要予約の露天風呂は一組分として予約されているという念の入りよう、何か勘違いされてしまっているのだろうか。
プロデューサーとアイドルだ。間違いなど起こりえない。
そのはずだ。そうだ。
そう自分に言い聞かせているのに、目の前では美希が笑んでいる。

「そっち、行ってもいいよねっ★」

どこまで本気なのかわからないが、屈託のない美希だ。
俺はうろたえて後ずさろうとしたが、下腹部の異常事態によって身動きがとれなくなっていた。
気づかれてはならない。予断を許さない状況である。

逆光が幸いして、理性を打ち壊すような決定的局面には移行していないが、それも時間の問題だ。
シルエットだけでも、美希は美しかった。

長い夜が始まろうとしていた。

— 了 —